

## プログラムの下見はなぜするの？

浜嶋です。  
こんにちは。

保護者の皆さん  
指導者の皆さん

プログラムの下見はなぜするの？

10月8日の親子ハイクの下見を24日に行います。  
親子ハイクの下見を例に考えて、賢くなってみましょう。

下見メンバーは、ポイントのスタッフ担当と班リーダー担当者です。  
現隊長及び隊長経験者の蒼々たる7名のメンバーです。  
私は参加しませんが、ハイキングコースと車組のコースの下見に行っています。高橋さんと南さんは、今回3回目の下見になります。

さて、下見の目的は、思いつきましたか？  
下見をしないとプログラムはできませんね。  
一緒に考えてみましょう。

### 1. プログラム内容の確認

今回は、ハイキングがメインプログラムです。でも、もっと楽しくするプログラムもできたらいいなと考えています。

どこで、何ができそうか。現地を見ながら考えました。サプライズの感動をしてもらいたいと何かを考えています。

私は、ハイキングでは、自然の緩やかな道を歩くのが一番楽しいです。また、足場の場所を考えるのが大変な急な下り坂も楽しいです。

自然の道は気持ちがいいですよ。

最後に箕面の滝に下りてきます。滝の上から下りてきた方はいますか？ ちょっと感動する道です。上に駐車場があり、車で来て滝を見る人が多いのです。

滝からは箕面の駅まで45分の下り坂です。気持ちいい道です。

前半に山歩きを達成し、後半はゆったりと歩く。楽しい親子ハイクになると思います。

いや、「行くぞ！ 箕面の山のレスキュー隊！」がテーマです。自然観察とレスキュープログラムを楽しんでください。

## 2. 実施計画の時間スケジュール設定

今回は、ハイキングがテーマです。歩くだけなら時間の想定は簡単ですね。でも、大人が普通に歩く時間ではだめなんです。

一番時間がかかりそうな年少者や私のような年寄りの足を想定しないと本番で時間が足りなくなります。1つの難関？ 380段の階段は、一般者20分と書かれていましたが、私が休み休み登った時間は30分でした。

階段では迷惑をかけましたが、後は楽々です。本当に心配いりませんよ。だから、BVS隊の下見では、いつも年少者の足を考えて時間に余裕を持たせています。

また、初めて歩くスカウトや保護者が地図を頼りに歩くと、行き先の方向を考える時間も少しずつ溜まりますね。道を間違えるとロスタイムが発生します。

それは困りますね。その対策はどうすればいいのでしょうか。

今回、班リーダーが下見をします。だから安心です。班長が間違えた道を進むときっと教えてくれるでしょう。

それから各ポイントでは、どれだけ時間が必要になるでしょうか。お昼休みの弁当の時間はどれだけ必要か。BVS隊やCS隊の弁当の時間の想定は30分～45分。親子で楽しく食べると何分必要か。

自由弁当ですから、いろいろ食べると時間がかかるのだろうか。

今回は、8時30分集合で16時解散です。予定は決めていますから16時に解散できるようにプログラム時間を調整することを考えないといけません。

解散時間を守ることはボーイスカウトの誇りです。昨年もびったり計画通りに解散できました。

BVS隊の六甲山プログラムの「保護者の声（HP参照）」に「予定通りの時刻に岡町駅前に着いた事に感動すら覚えました！

いつも入念な下見と企画を考えていただき、本当にありがとうございます！

」という感想がありました。うれしいですね。

でも、指導者にとっては計画通りに進めることは当然の結果と考えています。そうなるように計画を考えないといけません。

時間通りに進める計画、そのための下見と時間設定が重要ですね。

体験者が2団を信頼していただくために、解散時間は余裕を持って守れるように計画を作ってほしいです。

## 3. 危険個所の確認と安全対策の方法を考える

団委員長として、一番気にしていることは安全です。ボーイスカウトでは、「安全はすべてに優先する」と考えています。

ボーイスカウトは、自然の中で活動することを目的としています。しかし、裏腹に自然

には危険がいっぱい潜んでいます。

指導者は、危険を察知する能力に長けています。下見では、危険予知を常に行います。危険個所を見つけ、対策を考えます。

今回、安全対策計画書を作成しました。豊中駅から豊中駅に戻るまでのすべての行程で注意し、対策を実施することを定めています。

各隊の隊集会では、いつも安全対策計画について確認しています。ですから、団行事において率先して見本を作成しました。10月7日にHPに掲載予定です。

外部の人にも「2団はしっかり準備している。信頼できる団だな」と思ってもらえるアピールにしたいからです。

「プログラムの下見はなぜするの？」の答えは見つかりましたか？

3つの項目があり、それぞれは、それぞれのプログラム内容で変わります。

- ・楽しい集会を考える。
- ・解散時間を守るスケジュール設定を考える。
- ・安全を優先して常に事故を起こさない対策を講じる。

スカウトにも話をしてあげてください。スカウトの成長は、活動の安全に繋がります。